



オンライン配信！全国から参加できます！

オンライン
開催

2020

食フェスタ東京

With コロナ だからこそ「食」を基軸に、
地域コミュニティ&多世代で支え合える居場所を広げましょう！



11/22日 10:00~16:00



Session 1

10:00~12:30

- 講演 「栄養を核とした多世代に向けた食支援（仮）」
熊谷 修先生（栄養施策コンサルタント）
- キューピーみらいたまご財団 2021 年度助成事業説明会
- 全国食支援活動協力会 子どもの居場所づくり応援事業
<2020 年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成> 実行団体公募 説明会

Session2

13:00~16:00

- 調査報告「コロナ禍における食支援活動調査より」
平野覚治（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事）
- 事例紹介 様々な角度からの協働による食支援活動の展開事例
- 分科会に分かれてのグループトーク

申し込み

一般社団法人全国食支援活動協力会
<http://www.mow.jp>



03-5426-2547

(受付平日10~17時)

主催：一般社団法人 全国食支援活動協力会

共催：広がれ、こども食堂の輪！推進会議／東京ボランティア・市民活動センター／東京食事サービス連絡会／社会福祉法人ふきのとうの会

助成：公益財団法人キリン福祉財団

後援：文部科学省／農林水産省／社会福祉法人全国社会福祉協議会

プログラム内容

コロナにより人との距離が求められる中、改めて「居場所」の持つ力が注目され、今まで見えなかった課題が顕在化し、新しい地域資源とのつながりが生まれました。
今回のセミナーでは、そうした様々な立場の方にご登壇いただき、コロナ禍の食育、助成の活用、活動方法や連携についてお話いただきます。
ぜひみなさんでコロナに負けない食支援活動について考えてみませんか？

Session 1

開会
講演

10:00~11:10

助成事業

の紹介

11:20~12:30

■ 栄養を核とした多世代に向けた食支援（仮）

熊谷 修先生（一般社団法人全国食支援活動協力会理事）

栄養施策コンサルタント、博士（学術）。
介護予防のための栄養改善プログラムを提唱した第一人者であり、日本においてはじめて老化を遅らせる食生活指針を発表した。「肉を含め毎日10食品群プラス主食」をとることを推奨する。

■ 助成プログラム紹介① 公益財団法人キューピーみらいたまご財団

■ 助成プログラム紹介② 一般社団法人全国食支援活動協力会

Session 2

調査報告

13:00~13:20

事例紹介

グループトーク

13:20~15:45

■ コロナ禍における食支援活動調査より

平野 覚治（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事）

■ with コロナの食支援活動について いまとこれから

～様々な角度からの協働による食支援活動の展開～

分科会 ファシリテーター紹介

- ①食支援 × こども食堂「子どもと家族を見守るこども食堂」
近藤博子さん（一般社団法人ともしび at だんだん / 東京都大田区）
- ②食支援 × 高齢者配食サービス「孤立を防ぐ食の居場所づくり」
石田惇子さん（支え合う会みのり / 稲城市）ほか
- ③食支援 × 食育「人をつなげ、コロナ禍でも楽しく食育」
名取直子さん（おへそ食DOプロジェクト代表 / 埼玉県朝霞市）
- ④食支援 × 行政・サポートセンター「団体を支援する側の取組」
こども食堂サポートセンターほか（調整中）
- ⑤食支援 × 企業「物流支援ネットワークプロジェクト」
プロジェクトメンバー有志（調整中）

まとめ

15:45~16:00

山崎 美貴子先生（東京ボランティア・市民活動センター 所長）